自社の Web サイトは、新規顧客の開拓に貢献するだけでなく、ブランドの信頼性や専門性をアピールするプラットフォームとなります。うまく設計された Web サイトは、自社製品やサービスの紹介し、売り込み、訪問者を顧客にすることができる場所になります。

ブランドの方向性が確立されている、まだアイディアの状態、その中間にある、など状況は企業によって異なると思いますが、オンラインプレゼンスを高めるなら早いに越したことはありません。今では専門知識がなくても、プロのような Web サイトが作れるサービスも多く存在しています。

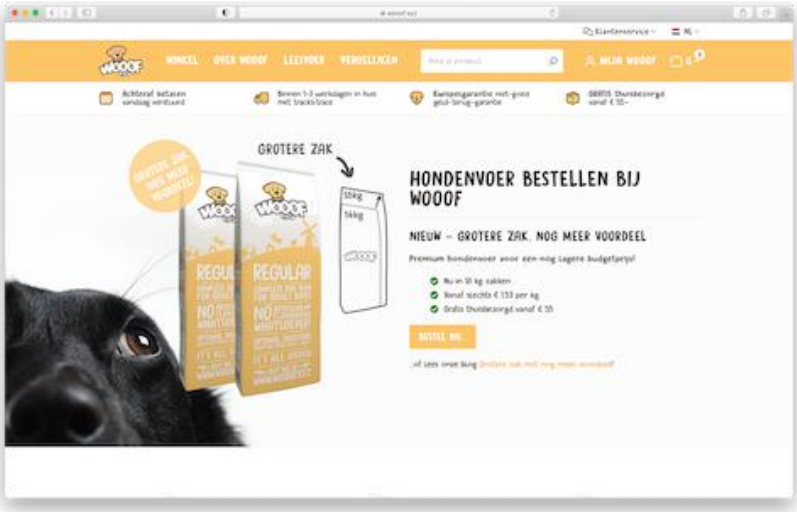
この ebook では、汎用性が高いことで人気のある.xyz ドメインでドメイン名を決めるところから、オンラインプレゼンスの確立をスムーズに行うところまでをお伝えします。

ステップ 1：Web サイトの主な目的を決める

Web サイトの主な目的を決めることで、自社の Web サイトにとってどのような特性を持たせるのが最も有益かが分かり、最適なレイアウトや、ユーザーエクスペリエンスなどをどう考慮すべきかが見えてきます。

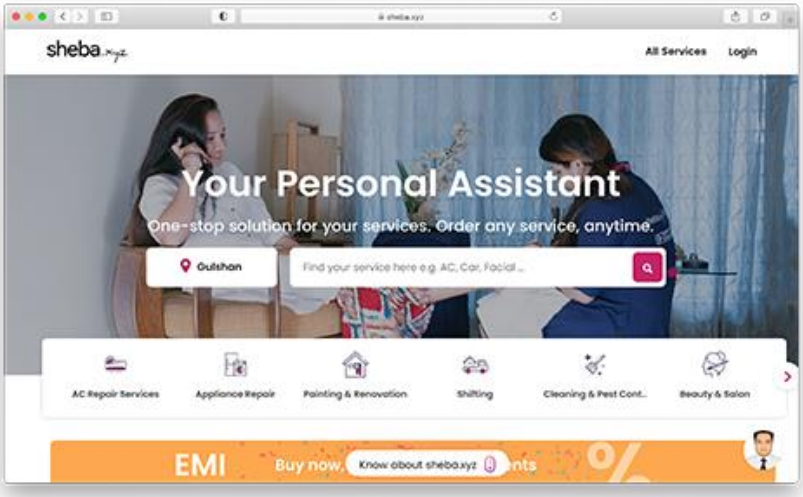
オンラインでより多くの方に自社製品・サービスを提供したい場合、Web サイトの主な目的はオンラインでの売り上げになるかと思います。オランダのドッグフードブランド、Wooof.xyz を見てみ

ると、EC サイトであることから、オンラインの売上が主な目的であることが分かります。



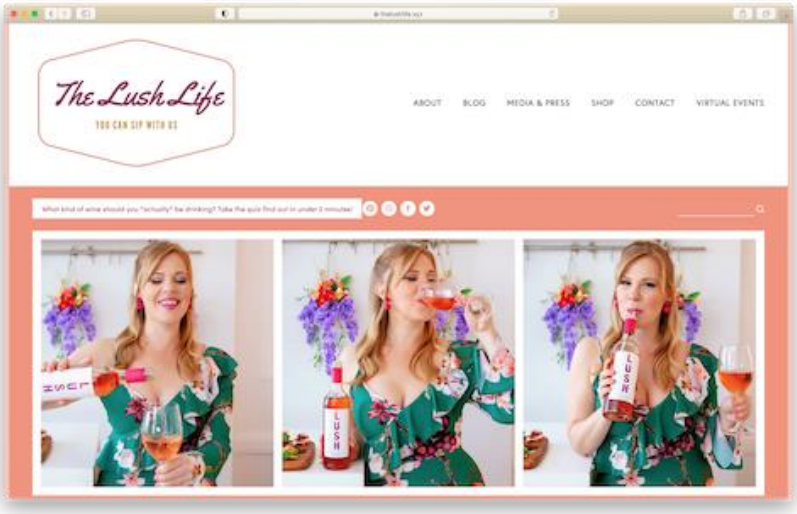
本サイトでは、ユーザーエクスペリエンスの焦点を、ドッグフードのオプションや製品情報を、製品パンフレットと同じように分かりやすく表示することに当てていることが読み取れます。本サイトのデザインは、ブラウジングを促し、購入につなげることであることも読み取れます。「オンラインの売上」という明確な目的を立てることで、Wooof.xyz は Web サイトを、製品をお客様に十分に理解していただいた上で購入していただく、というデザインに仕上げています。

では、自社 Web サイトの主な目的が、製品ではサービス提供の場合はどうでしょうか。新規顧客に自社サービスを利用してもらうためには、オンラインにいるより多くの潜在顧客にサイトを見てもらうことが重要です。バングラデシュで家事代行サービスを展開している Sheba.xyz は、サービス提供を主な目的とする Web サイトです。



検索ウィンドウやカテゴリなどの活用に加え、地域によっても検索ができるようになっているため、顧客が求める家事代行サービスを簡単に探しやすくなるよう Web サイトをデザインしているのが特徴的です。このようにユーザーエクスペリエンスを考慮したサイト構築をすることで、より多くのオンライン予約につながります。

もし自社の Web サイトがエンタメ性のあるコンテンツ配信を行い、より多くの購読者を得ることを主な目的としているのであれば、ソムリエの Sarah Tracey 氏のサイト、TheLushLife.xyz が参考になるかもしれません。



彼女のサイトは、ワインを中心に構成されており、より多くの人にワインを楽しむことを伝えるのが目的であると読み取れます。さまざまなコンテンツをブラウズするだけでなく、ゲーム感覚で楽しめる「自分に合うワインは何か？」というクイズなども用意されており、クイズに回答すると、彼女のメールマガジンへの購読ができるようにもなっています。 エンゲージメントを高めるという意味では、最適化された Web サイトの構成になっていると言えます。

以上 3 つの例をご紹介しましたが、Web サイトの主な目的を決めることで、サイトのデザイン・見せ方も決まってきますので、ぜひ参考にしてみてください。

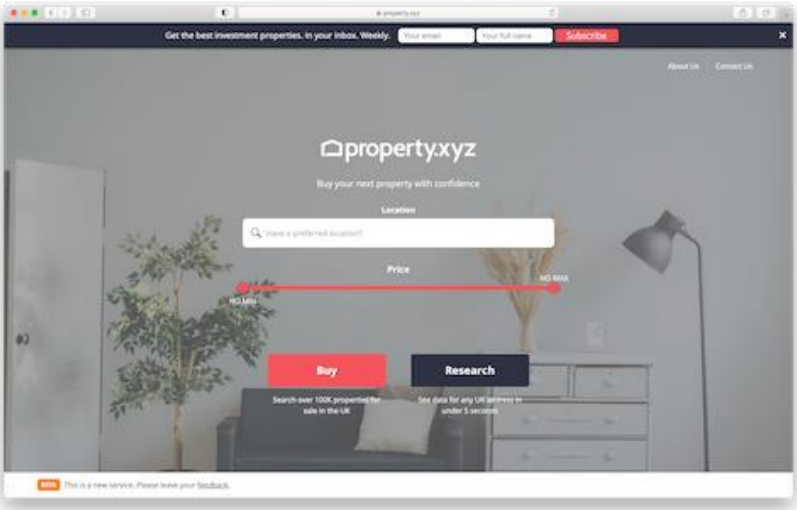
ステップ 2：記憶に残るドメイン名を選ぶ

Web サイトの主な目的を決めたら、次は記憶に残るドメイン名を選びましょう。Web サイトは自社ビジネスのオンライン上の会社所在地となる存在です。会社所在地は、オフラインと同じように、「場所」が重要な要素となり、ドメイン名が「住所」となります。覚えやすい名前を選ぶことで、ユーザーがよりアクセスしやすくなり、オンラインプレゼンスの向上にもつながります。

ドメイン名の長さは、通常短い方が覚えやすくて良いとされています。短いドメイン名は、名刺や広告、その他マーケティング素材でも場所をとりません。ぜひお名前.com から希望の文字列があるか、一度検索してみてください。

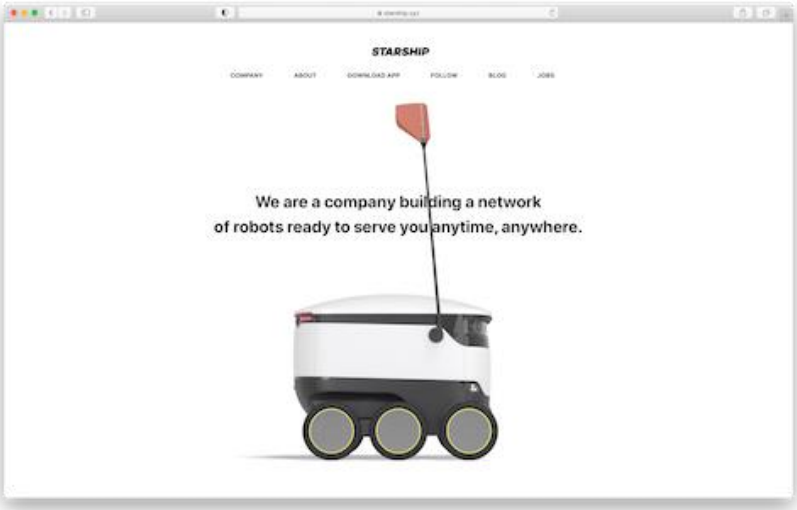
スロバキアで賞も取ったことがある Black.xyz は、コーヒーショップの Web サイトに.xyz を使用しています。ドメイン名に使われている単語が一つなので、マーケティング素材でも場所を取らず、なんといっても覚えやすいのが最大の魅力です。

事業の内容を表す文字列をドメイン名に使用するのも、既存顧客を顧客に変えるのに有効と言えます。不動産検索サイトの Property.xyz は、不動産を意味する「property」を文字列に使用しているため、一目で何を提供するサイトかが分かりやすくなっています。



共同設立者の Robert Jones 氏は、「誰もが使えて、どんな不動産も検索できるを Web サイト目指しています。 だからこそ、Property.xyz は私たちにとってパーフェクトなドメインでした」と話します。業態にあったドメイン名を利用することで、サービスの促進にも役立っているようです。

ドメイン名で重要なことの一つに、「ラジオテスト」にパスすることがあります。ラジオテストとは、覚えやすくスペルしやすい名前であるかどうかをチェックするテストのことです。ドメイン名を決める前には、同僚、家族、友人へ自分たちの考えている名前が覚えやすくスペルしやすいか、ぜひ確認してみてください。
Starship.xyz は、Skype の共同創業者二人によって設立された、無人の配達ロボットのサイトですが、ラジオテストにパスしている名前だと言えます。



本 Web サイトを運営する Starship Technologies 社は、自社名と.xyz を組み合わせましたが、結果、覚えやすくスペルしやすいドメイン名になりました。 アメリカではじめて、米国の各地の大学にフードデリバリーのロボットを配備したことで有名になり、ドメイン名も覚えやすかったことから、多くの学生がこの Web サイトにアクセスし、サービスを利用しているようです。

覚えやすいドメイン名候補ができたら、商標検索サービスを使って、そのドメイン名が商標権に抵触していないかを調べましょう。問題がないようであれば、他の人に取られる前にドメイン名を確保しましょう。

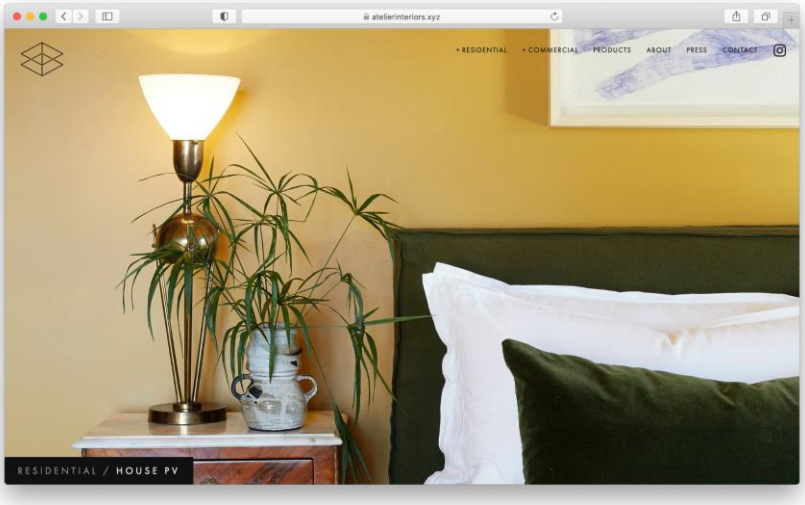
ステップ 3：優れたデザインの Web サイトで良い印象を与える

人は見た目で周りの人に与える印象が 9 割決まると言われていますが、Web サイトも同じで、最初に与える印象が 9 割だと言えます。それには、優れたデザインの Web サイトが必要になりますが、それは必ずしも困難な作業を伴うものではありません。Web サイトのデザインを考える時に

は、まず Web サイトの主な目的について考えてみましょう。その上で、どのような色味、フォント、画像がいいのかを考えてみてください。

お名前.com では、知識がなくても Web サイトが作れる Weebly や、WordPress のかんたんインストール機能が標準搭載されたサーバーを提供しています。こういったサービスを活用することにより、非常に簡単に、自分のイメージにあった Web サイトを作ることが可能になっています。

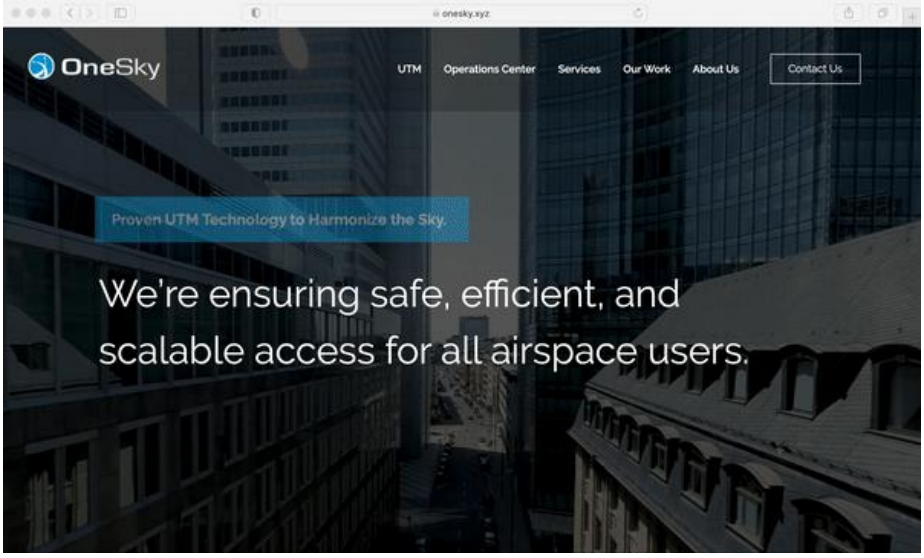
もしデザイン業界の Web サイトを作る場合には、画像を中心に構成するのがよいでしょう。質の高い画像を使うことで、潜在顧客に、自社がどのようなサービスを提供できるかを、視覚的に、効率的に伝えることができます。百聞は一見に如かずです。
インテリアデザイン会社の AtelierInteriors.xyz は、個性と深みをもたらす住居空間を作ることを主な目的としています。そこで、より視覚的に訴えるために、ポートフォリオのページで過去の事例を掲載し、潜在顧客へのアピールを行っています。



デザイン性で勝負することのない業界の Web サイトであれば、事業の色にあったデザインで Web サイトを構築しましょう。

法医学犯罪学者の George A. Rauscher 氏 Web サイトである Rauscher.xyz では、より自身の業態にあった色味や画像を使用しています。本サイトではテーマの色が黒、文字の色が白、そして画像は白黒のものが全体に使われています。彼の顧客は警察関連であることから、よりシリアスな色味にもなっています。

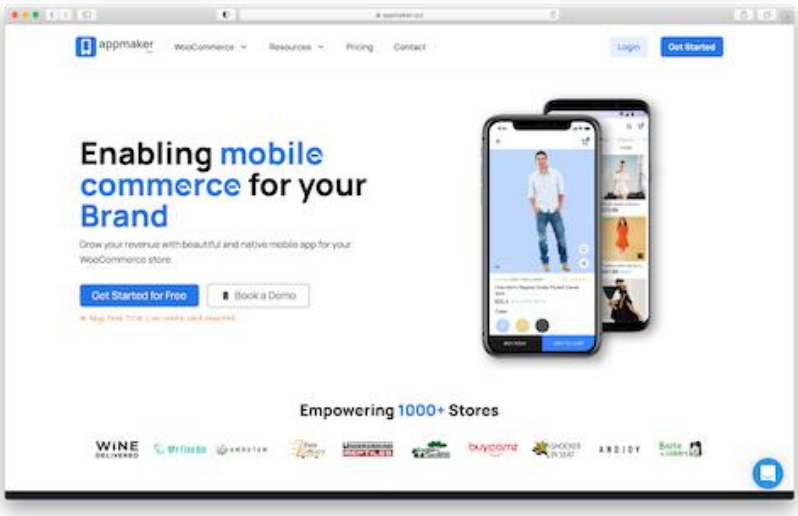
IT 企業の Web サイトであれば、自社のテクノロジーでどのようなことができるのかを、より分かりやすく説明するサイトであることが求められます。
OneSky.xyz は、ドローンの運行管理システムを提供している会社ですが、OneSky の Web サイトは、画像、イラスト、動画などがあらゆるページに配置され、ヴィジュアルでユーザーエクスペリエンスを向上させることに成功しています。



ステップ 4：事業をアピールするキーとなるコンテンツを入れる

Web サイトの訪問者を顧客に変えるには、説得力のあるコンテンツが必要です。自社がどんな製品・サービスを提供しているのか、訪問者に短時間で分かりやすく要点を伝えるコンテンツ作りについて考えてみましょう。

アプリビルダーを提供している AppMaker.xyz では、「あなたのモバイルコマースを可能にします」とトップページに大きく書かれているので、どういったサービスが提供されているのか一目で分かります。ここで興味を惹き、他のコンテンツにも目を通していただくことが重要になってきます。

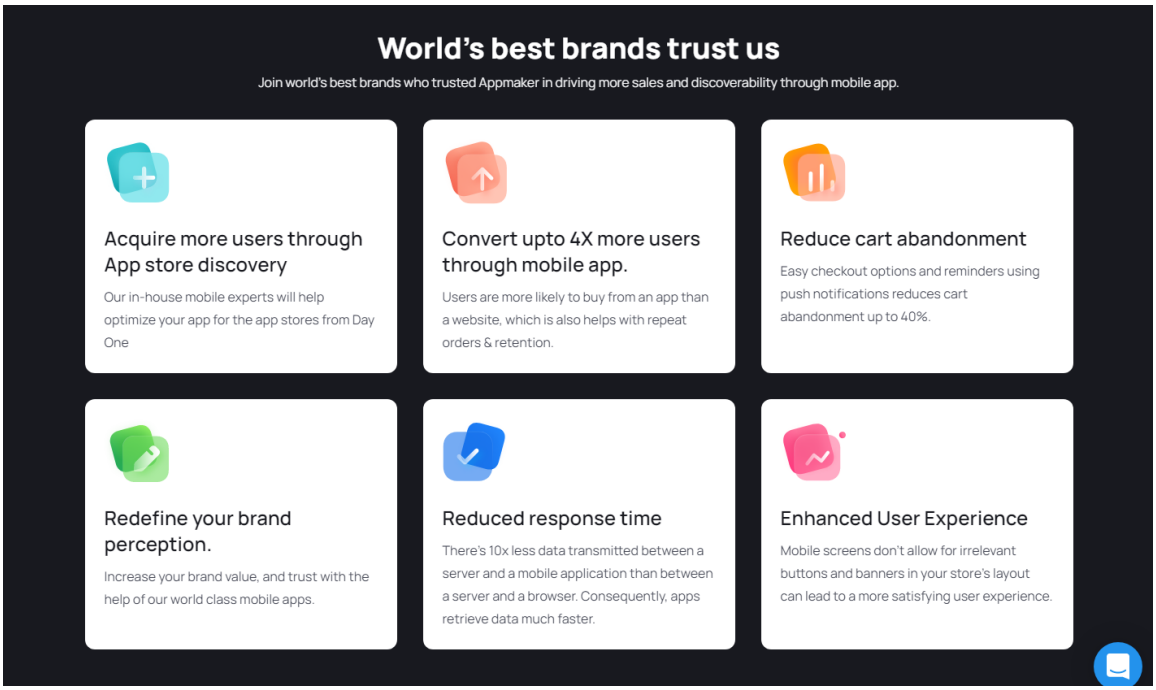


その他にサイトに配置するコンテンツとしては、CTA（Call To Action）があります。CTA は日本語で言うと「行動喚起」となり、自社 Web サイトを訪れたユーザーに購入や資料請求など、何かしらの行動を起こしてもらうための要素となります。

AppMaker.xyz では「無料で始める」（“Get Started for Free.”）というボタンを目立つ色で配置し、「まずサービスを使ってもらい、顧客になってもらう」という彼らの主な目的を果たすきっかけづくりとして貢献しているようです。

また、「お客様の視点から見て意味ある価値」「他社と比べて自社が提供できる優れた価値」のある商品・サービスを分かりやすく説明することも非常に重要です。なぜこの会社の製品・サービスを選ぶべきなのか、そこを納得させるためのコンテンツ作りが新規顧客の獲得につながります。

AppMaker.xyz では下記のように自社サービスを利用することの価値を分かりやすくリストアップしています。「アプリストアでより見つけてもらいやすくする」「アプリで約 4 倍の顧客を得る」など、アプリ作成を考えている企業にとって、価値があると思われるものばかりです。

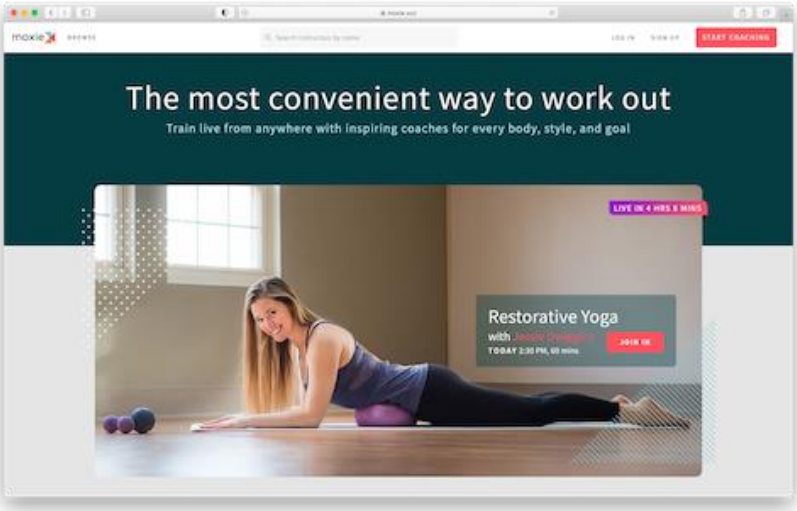


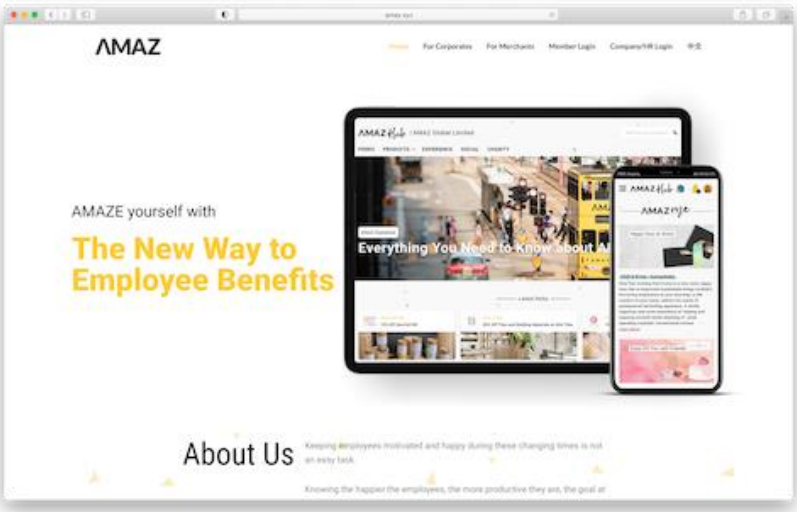
短時間で分かりやすく要点を伝えるコンテンツ、CTA、価値の提供は、最低限 Web サイトに入れるべきコンテンツと言えます。

ステップ 5：メールとソーシャルメディアでユーザーとの接点を作る

訪問者を顧客に変えるには、顧客が問い合わせできたり、ソーシャルでフォローできたりすることも必要です。お問い合わせフォーム、メールアドレスの表示、ソーシャルメディアへのリンクなどは最低限設置しておきましょう。こうした接点があることで、ユーザーが自社ブランドへの信頼と興味を高めるきっかけにつながります。また、ドメイン名をソーシャルメディアのハンドル名に使うことで一貫性が生まれますし、独自ドメインが使われているメールを使うことは、企業の信頼を高めることに貢献する要素の一つです。

オンラインでフィットネスインストラクターと一緒に運動ができるストリーミング動画サービスを提供している Moxie.xyz や、香港で福利厚生代行サービスを提供している Amaz.xyz では、(support)@moxie.xyz、(info)@amaz.xyz など、独自ドメインでのメールアドレスをお問い合わせに使用することで、Web サイトのオーナーである会社に問い合わせができるということが分かり、それが信頼につながります。





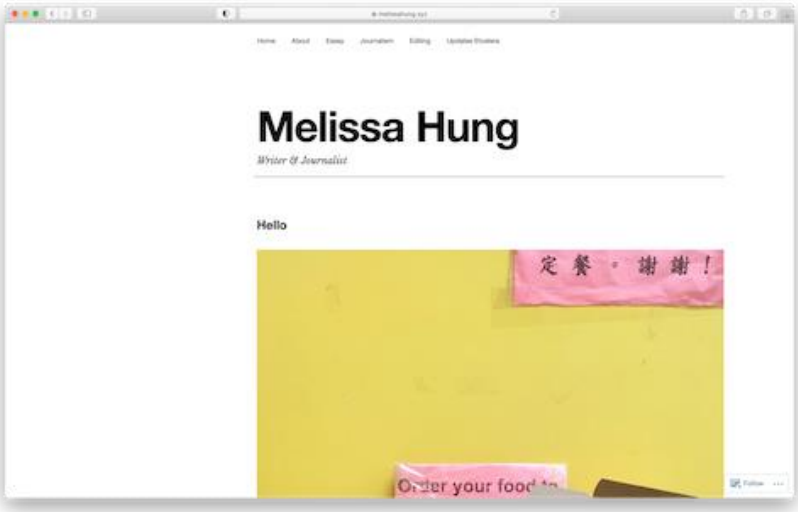
.com や.net など昔からあるドメインでは自分の欲しい文字列が取られてしまっていることがほとんどですが、これらに比べて文字列の空きが多く、ユニークで汎用的に使える.xyz ドメインは、前述の通り、ドメイン名をソーシャルメディアのハンドル名にも使え、一貫性を生むことができるのでおすすめです。

Moxie.xyz は、@moxie.xyz をインスタグラムと Facebook で、Twitter では@moxie_xyz を、LinkedIn では/moxie-xyz を使用しています。Amaz.xyz はインスタグラムと Facebook で @amaz.xyz を、Linkedin では/amazxyz を使用しています。両社はドメイン名とソーシャルメディアのハンドルに一貫性を持たせることで、どのプラットフォームでもユーザーがブランドを認識できるようにしています。また、ソーシャルメディアにドメイン名を入れることで、それがユーザーの記憶に残り、いつでも Web サイトにアクセスしてもらえるようになります。

ステップ 6：Web サイトをシェアして認知度を上げる

Web サイトをシェアすることで、トラフィックが増え、ブランドの認知度があがります。自社のオンラインプレゼンスを高めるには非常に重要なことです。 そこで、ソーシャルで、Web サイトのコンテンツなどを掲載し、どういった製品・サービスがあるのか、「続きは Web で」の要素で Web サイトへの誘導を図ってみてください。また、ターゲットとなるオーディエンスのコミュニティなどに参加し、そこでも自社の投稿紹介などをしてみるのもありです。

ライターでフリーランスのジャーナリストである Melissa Hung 氏の Web サイト MelissaHung.xyz では、Twitter で短く興味を惹きつける内容で、サイトのコンテンツに誘導しています。こうした活動を続けることで、彼女はライターのコミュニティから多くのリプライやリツイートを得ています。



彼女は定期的にコンテンツをアップデートし、それを Twitter で紹介していますが、こういった活動はオンライン上で新しい顧客を得るきっかけになります。また、彼女の Twitter のプロフィールのリンクは、彼女の Web サイトのポートフォリオのページに飛ぶようになっています。こうすることで、よりユーザーが彼女のことを知りやすくしています。

Web サイト上でブログを開設するのもブランド認知度の向上に貢献します。ブログをコツコツ続け、読者を増やすことで、次のビジネスを生むチャンスが生まれることもあります。また、ブログのコメントでやり取りを行うことでエンゲージメントが高まり、こちらも新しいアイディアや機会を生むきっかけになるかもしれません。ブログには Web サイトで紹介している製品・サービスのリンクなども入れると効果的です。

オンラインラーニングを提供している LearningOnline.xyz は、「教育を広める」という社会的目標を掲げ、ブログで「文法・スペルチェックのアプリをより効率的に使う方法」や、「教育を通して世界をより良い場所にする」などの記事を投稿しています。こういった記事の積み重ねにより、ユーザーは特定のトピックスに関する学びに関する情報が得られたり、興味喚起やモチベーション向上にもつながったりして、Web サイトを再訪問するというサイクルが生まれます。

T シャツ、ペンなどのノベルティにドメイン名を印刷するというのも、Web サイトの認知度を上げるのに効果的な方法です。ユーザーが普段使うであろう製品にドメイン名を印刷することで、より新規ユーザーが Web サイトを訪れる回数が増える可能性が高まります。

建築とデザインブログの MightyType.xyz では、オンラインショップで自社ドメインと QR コードを印刷したポスターやステッカーにして販売しています。普段目に触れる製品にドメイン名を入れることで、よりユーザーの記憶に残りやすくなるのでオススメです。

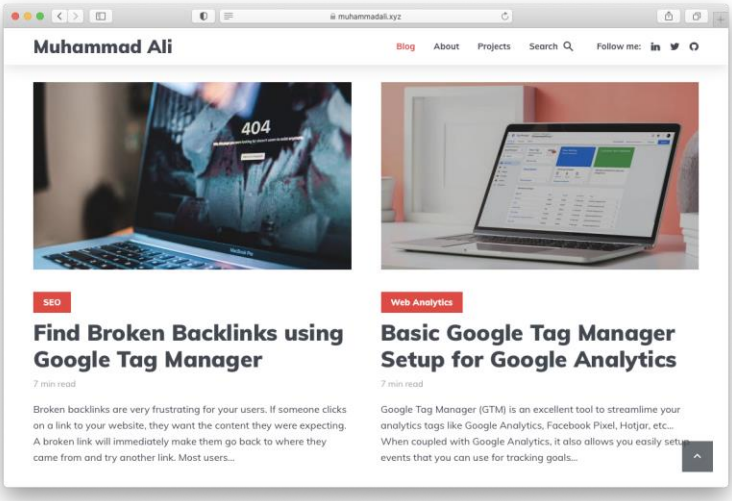
認知度を上げるための活動には時間がかかりますが、努力はきっと実るはずです。ファンや読者を増やすことで、ぜひビジネスの成長と成功につなげてみてください。

ステップ 7： Web サイトの状態を確認する

Web サイトは作ったら終わりではなく、トラフィックの分析等をすることで、改善を加えてよりよくすることが大切です。分析ツールはサーチエンジンやホスティングプラットフォーム、Web サイトビルダーなどのものを使うことが可能です。こういったツールのレポートを分析することで、訪問者がどこから来たのか、どのコンテンツが人気などか、などの情報を得ることができます。

人気のあるコンテンツがあれば、似たようなテイストのものを作ってみて、不人気のものは異なるアプローチを考えてみるとよいかと思います。Web サイト診断ツールなども利用して、サーチエンジンでの状態チェックをしてみるのもおすすめです。サイトの遷移率や離脱率といったデータも分析し、オンラインでの訪問者のニーズに応えられるような Web サイト作りに生かしましょう。

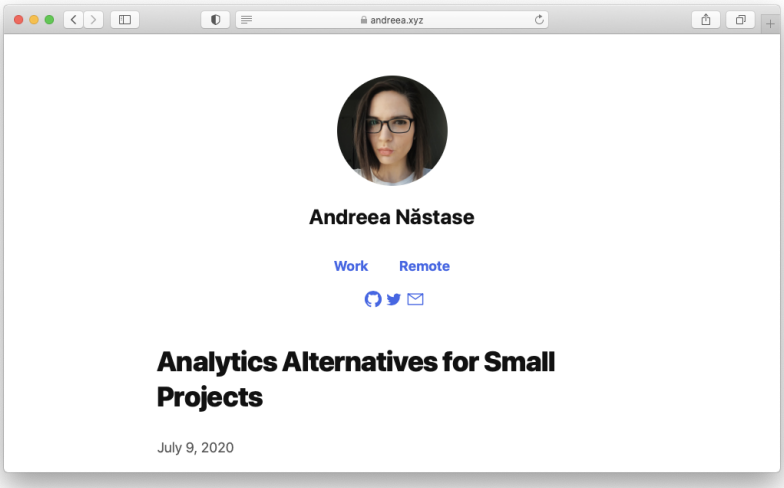
MuhammadAli.xyz を運営する Muhammad Ali 氏は、デジタルマーケティングと分析を専門としていて、Web サイトのパフォーマンスを向上させることが仕事の中心です。



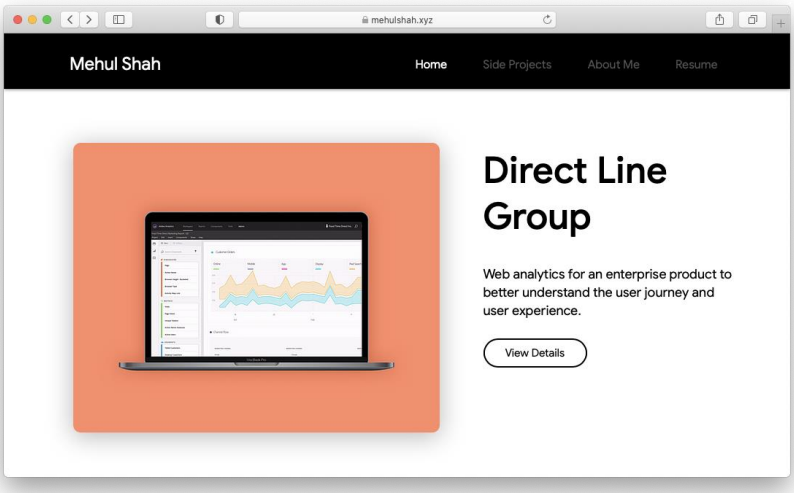
彼は自身のブログで、Google タグ マネージャーが、計測タグや広告タグを管理するのに最適で簡単なツールとコメントしています。

また、ユーザビリティが低下してユーザー行動指標が悪くなり、結果として SEO にも悪影響が及ぶと言われているリンク切れを見つけるためのヒントについてもブログ記事を書いています。

ソフトウェアエンジニアの Andreea Năstase の Web サイト Andreea.xyz でもブログ記事があり、Google 以外のデータ分析ツールを 60 個も紹介しています。こういった記事は、自分にあったツールを見つけるのにぴったりです。



Microsoft Surface の UX デザイナーの Mehul Shah 氏が運営する MehulShah.xyz は、ユーザーエクスペリエンス向上のために自身で分析ツールを開発し、自身の Web サイトで提供しています。



データ分析ツールはさまざまなプラットフォームで提供されています。視覚的にも分かりやすいので使い方を覚えればサイトの状態を確認するのに重要な役目を果たしてくれるはずです。もしどうしても分からない場合は、プロに依頼をして毎月見てもらうという選択肢もあるのではないでしょうか。

まとめ

起業したばかりだったり、起業したもののまだオンライン化できていなかったりする場合は、ぜひこれらの 7 つのシンプルなステップを参考にしてみてください。

事例でご紹介した通り、さまざまな企業が.xyz ドメインを活用して、ビジネスを成長させています。ぜひ皆さんも短くて覚えやすく、汎用的に使える.xyz で、オンラインプレゼンスを高め、大きく羽ばたきませんか？

.xyz ドメインはぜひお名前.com でご登録ください！